

市川市子ども会育成会だより

ふれあい

2018
99号

平成30年7月



わんぱくセミナー開校式が 6月17日(日)行なわれました

行徳会場 男子14名 女子18名の計32名
八幡会場 男子21名 女子23名の計44名

神妙な顔で受付をする子、保護者付添の子…
閉講式にはどんな顔が見られるか楽しみです

市子育連の事業日程

平成30年

- 8月4日(土) はぜ釣り大会「江戸川」
- 8月7日(火)～8月9日(木) ジュニアリーダー・ヤングカルチャー合同キャンプ「市川市少年自然の家」
- 8月24日(金)～8月26日(日) わんぱくセミナー・ジュニアリーダー・ヤングカルチャー合同キャンプ「市川市民キャンプ場」
- 9月13日(木) ふれあいセミナー「未定」
- 9月30日(日) わんぱくセミナー「国府台ス

- ポーツセンター第1 体育館
- 10月13日(土) 貸出し備品講習会「行徳小」
- 11月3日(土) 市民まつり模擬店出店「大洲防災公園」
- 11月8日(木) ふれあいセミナー「生涯学習センター」
- 11月11日(日) ジュニアリーダー・ヤングカルチャー閉講式「生涯学習センター」
- 11月25日(日) ファミリーイベント(ファミリーマジックショー)「全日警ホール」

- 12月25日(火) 子ども会歳末助け合い募金贈呈式「市役所仮庁舎(予定)」
- #### 平成31年
- 1月12日(土) 新年懇親会「未定」
 - 1月27日(日) スポーツつなひき大会「東国分中」
 - 3月1日(金) 子ども会新聞・壁新聞・ポスター・コンクール審査会

市子育連ホームページ <http://ichikawa-koren.but.jp>



平成30年度代議員総会開催

5月12日(土)に平成30年度市川市子ども会育成会連絡協議会の代議員総会が勤労福祉センターで開催されました。石井克己会長より来賓や大勢の代議員らに、今後の抱負と日頃の活動のご協力に感謝を述べました。来賓の生涯学習部長・佐野慈人様、市議会議長・松井努様、社会福祉協議会長・小島武久様より日頃の感謝が述べられました。続いて、子ども会活動を長年に渡ってご尽力いただいた方々15名の育成功労者表彰を代表して、たいよう子ども会



の日岐捷子様が感謝状を受けとられました。その後、子ども会新聞・壁新聞及び、ポスターコンクールの表彰に移り、緊張しながらも嬉しそうに賞状、記念品を受け取っていました。来年も、子ども会の沢山の応募を期待しています。続いて第9地区長の五十嵐良彦議長のもと、議案に移り、円滑な進行ですべての議案が承認されました。第2部の懇親会でも多くの参加者が集まり、情報交換等の歓談致しました。

理事変更のお知らせ

退任
地区 7 3
役職 理事
氏名 毛下 正治
本田 裕彦

新任

地区 7 3
役職 理事
氏名 尾川 健司
鈴木 健

理事を退任した方は長い間ご苦労様でした。



平成30年度 子ども会 育成功労表彰者

地区	子ども会	表彰者
3	大洲	上野 純恵
3	大洲	石森 啓子
5	平田	佐藤 光子

5	平田	水谷 里織
5	白幡	宮内 多恵
5	白幡	横井 浩美
5	東菅野三丁目	土谷 公宏
5	さくら	土谷 優子
6	たいよう	日岐 捷子
9	高石神	星 希
9	高石神	若月 智恵
9	中山	小西和香子
9	中山	茶谷 悦子
12	本塩	千年 淳子
12	本塩	吉野 明子

平成29年度市川市子ども会新聞・壁新聞・ポスターコンクール表彰

新聞の部

優秀賞 欠真間子ども会

壁新聞の部

優秀賞 白幡子ども会

優良賞 東菅野三丁目

佳作 さくら子ども会

佳作 新井子ども会

ポスターの部

優秀賞 本行徳二丁目子ども会

優良賞 矢島 瑠泉(小5)

優良賞 高石神子ども会

若月 萌奈(小4)

県子連表彰

佳作	高石神子ども会
佳作	安山 凜花(小4)
佳作	高石神子ども会
佳作	松浦 杏寿(小5)
佳作	本塩子ども会
佳作	千年 莉子(小6)
佳作	相之川子ども会
佳作	花崎十々子(小3)
佳作	欠真間子ども会
佳作	藤本 蒼(小4)
佳作	福栄1丁目子ども会
佳作	福田 菜那(小3)

広報コンクール

☆単位・地区子ども会

銀賞 欠真間子ども会

☆壁新聞の部

努力賞 白幡子ども会

指導者・育成者の部

亀山 達次

伊藤 猛

稲葉 健二

単位団体及び育成組織の部

須和田1丁目子ども会

本塩子ども会

子ども会活性化にはリーダーの発掘を



市子育連会長 石井 克己

夏休みを間近に各単位子ども会、地区とも活発な活動が展開されている事と思います。

課題であります会員の減少、しかも低年齢化で小学4年生がリーダー格の子ども会が多く、育成者なしでは活動出来ないのが実態です。それでも良き育成者のいる所では事業内容も豊富で活気があります。市子育連では教育委員会と共催で実施しているわんぱくセミナー、ジュニアリーダー講習会、ヤングカルチャースクール、そして育成者の為のふれあいセミナーと、いづれも子ども会活動に欠かす事の出来ないリーダーを養成するセミナーですが、近年極めて参加者が少ない。この様な各種講習会に積極的に参加して、

ある意味、目線を変えて観るのも大切な事と思います。特に子どものリーダーを育成する事は大事です。子ども達は年齢の近い同世代の人程、話も聞き興味を示します。ぜひリーダーの養成をお勧めします。

異年齢集団の中で遊びを通して様々な体験をさせる事が、将来の人間形成に大切である事を教える事も育成者の務めだと思えます。

個の尊重のみで他とも共存を忘れがちな世相の中から、良き指導者を発掘、人材を確保することは、難しい現状ではあります。が、将来を担う子どもの育成は大人の責務と自覚して、ねばり強く努力したいと思ひ、会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。



安全講習会を受講して

中山子ども会 常住 香織

子ども会での活動中に、もしも怪我や事故が目の前で起こったらどのように対処すればよいのか不安になりませんか？

そんな不安を少しでも減らし、子どもたちの役に立ちたいと思ひ「怪我等の応急手当」を受講しました。

出血した時の止血方法、三角巾を活用した包帯の巻き方など実技を交えて教わり、また、医療品がなくても身近にあるハンカチやストッキング、ビニール袋でも応急手当ができることを知り驚きました。さらにバンドエイドに少しの切れ目を入れることで肌についたりつきやすくなることにも驚きました。

このように誰でもすぐに活用できる内容で有意義な体験となりました。

今回のような講習会を受けることで何か起きた時に慌てずに対処できるのではないかと



と思ひました。また「事故は少しの気配りで防ぐことができる」という先生の言葉も印象に残り、起こる前に防ぐ、私達の役割もしっかり認識できました。普段から様々なことに備えることが私たちの安心、そして子どもたちの安心につながります。

子どもたちの安心につながります。

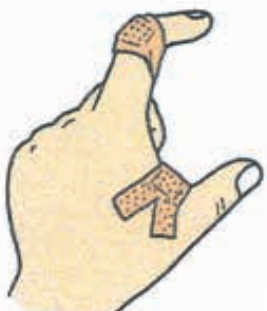
今回学んだことを今後の子ども会活動に役立てていきたいと思ひます。



工) 救急絆創膏を使って

救急絆創膏は両端を切って使うと肌につきやすくなります。

※ レジ袋を使用しての前腕の吊り



新生

高谷子ども会

高谷子ども会育成会会長
及川 和弘

平成30年度より「新生高谷子ども会」として再出発しました。

「高谷子ども会」は私も入会しておりました。昭和34年設立の歴史ある子ども会でしたが、少子化またレジャーの多様化などにより入会者が減少し一時休会いたしました。

しかし、平成28年に前会長が「高谷子ども会」を再興し、平成30年4月に元子ども会関係者など六名が子ども会を盛り上げようと立ち上がり自治会の協力を得ながら「新生高谷子ども会」として活動を始めました。

募集方法としては、自治会の回覧に子ども会員募集のチラシを配布し自治会館で登録の受付窓口を開き十数名が訪れました。また、第11地区育成会では地区子ども会の入会案内を小学校・幼稚園などに毎年配



布しておりますが、高谷子ども会に5名の申込みがありました。現在、役員、育成者を含め40名となり、5月に12名でスタートしたので28名増です。

これから本番です。今年度最初の事業はバス見学で「大宮鉄道博物館」に行つて来ました。続いて市子育て連主催の「はぜ釣り大会」への参加、8月末には夏祭り、「カレパーテイー」を計画しております。

まだ走り出したばかりですので、皆様の協力を得ながら一致団結して地域に根差した子ども会として、頑張つてまいります。

広報誌「百号」を迎えて 広報部

平成三十一年に、市川市子ども会育成会連絡協議会が「発足、六十周年」を迎えます。

昭和四十三年に「市川市子ども会だより」として創刊し、昭和六十年に「ふれあい」と改名した広報誌も、いよいよ次号には百号を迎えようとしています。

十年前までは白黒だった「ふれあい」も今ではフルカラー…。当時の広報誌を見た時、「十年後の自分」と題した五十周年時の記事が目に残りました。

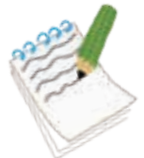
「成長期の小学生から青年期へと変わっていった、子どもたちの様子が知りたいね」との気持ちから、原稿を寄せてくれた子ども達を捜すことになり、地区連絡員の方々の

協力を頂き、子ども達を捜しています。しかし、転居されたり当時の子ども会を知る人もいかなかったりと、なかなか難しいようです。

記念すべき広報誌百号にこの記事を含め魅力ある紙面作りに向け、多くの皆様のご協力をお願いいたします。



地区連絡員	
地区	氏名
1	若林 寿江
3	藤村美起子
4	竹内 英光
5	野澤 哲
6	高崎 好美
7	今野いずみ
8	鈴木美智子
9	松浦 ゆか
11	梅原 利江
12	千田 正子
13	長尾美弥子



編集後記

今年は梅雨明けが早く、猛暑が続いています。もうすぐ夏休み!! 地区・

単子では行事、真つ最中目前。先日行われた安全講習会、

「怪我の応急手当」。ちよつとした切り傷でのバンドエイドの使い方等、育成者として、親として知っておきたい知恵かと思っておりますので多くの育成者に受講してほしいもの。

来年は「あなた」も受講してみませんか? 目から鱗の発見があるかもしれません!

(川上)

市川市子ども会育成会だより
「ふれあい」九十九号
発行 市川市子ども会育成会
連絡協議会
住所 市川市柏井町四一四七一
発行人 石井 克己
編集人 遠藤 淳子
川上 みつ子
大林 和彦
川田 仁美
及川 和弘
遠藤 孝治
赤澤 秀樹
長野 智志